



『倉吉農業高等学校の歴史』

- ・ 明治 18 年 鳥取県立倉吉農学校となる。札幌農学校、駒場農学校などと並ぶ日本で最も古い、歴史のある農業高校の一つ
- ・ 明治 34 年 小松宮彰仁親王より「國本」の親書を賜る
- ・ 明治 40 年 皇太子嘉仁親王（のちの大正天皇）本校に行啓。「錦野」改め「太子ヶ丘」と称する
- ・ 昭和 42 年 全寮制自営者養成農業高等学校として文部省の指定を受け、自営学科第 1 回生入学（農林科・畜産科・園芸科）、祥雲寮竣工、嵐が丘牧場を創設
- ・ 平成 10 年 祥雲寮女子棟完成
- ・ 平成 23 年 生物科、食品科、環境科を設置
- ・ 平成 27 年 創立 130 周年記念式典（倉吉未来中心大ホール）
- ・ 令和 3 年 県内高校初、全国の高校では 2 校目の食品安全管理規格「JFS-B」適合認証取得
「全国農業高校お米甲子園」7 年連続「金賞」受賞
- ・ 令和 4 年 青パパイヤプロジェクト、農業クラブ全国大会出場及び第 10 回「高校生ビジネスプラン・グランプリ」県内高校初、全国ベスト 20 プランに選出 「全国がんばる林業高校生表彰」林野庁長官賞受賞。「全国農業高校お米甲子園」8 年連続「金賞」受賞
- ・ 令和 7 年 創立 140 周年記念式典挙行予定

『校旗と校章』

校旗は月星章に小松宮彰仁親王から賜った「國本」銘を配したもので、校章の月星章は「あしたに星をいただき、夕べに月をふんで帰る」という月輪と星で「勤勉」を表し、また 7 つの「A」（Agriculture(農業)）で構成されています。

ともに明治 34 年山瀬校長時代に制定されたものが、今日まで続いています。

『校歌』

校歌は昭和 2 年、宮沢賢治と交友があり本校教諭であった詩人河本緑石らによって創られたもので、歌い継がれて 95 年になります。

『校内』

至る所に生徒の成長を見守ってきた大木が場所が碑が歴史を語ります。前庭にある国本塔は、本校のモットーである「農は国の本」と「進徳修業」を高くかかげた塔です。この前庭は「清庭」と呼ばれています。第二校門の近くにある「あらうみのやねやね」の碑は河本緑石先生の句碑、実習水田に建つ大きな碑「まだ陽は高い」は奥野久蔵先生の有名な実習指導のことばです。畜産農場には「輪廻によろこぶ」という東大寺元別当清水公照先生の書による碑があります。

校内を歩くと先人の農業に対する熱い思いを感じます。